



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール：経済成長率見通し

(14日付現地各紙)

14日付現地各紙は、カタールの2010年および2011年の実質経済成長率がGCC諸国中で最大となる見通しであると報じている。

1. バンクオブアメリカ・メリルリンチによると、カタール経済は湾岸諸国の中で最も高い経済成長が見込まれている。湾岸諸国の実質経済成長率が2010年に3.6%、2011年に4.2%と見込まれている一方で、カタールの実質経済成長率は2010年に11.3%、2011年に9.6%と見込まれている。

2. GCC諸国の実質経済成長率は、次のように見込まれている。

	2010年	2011年
サウジアラビア；	3.2%	3.9%
UAE；	1%	2%
クウェイト；	2.5%	3.1%
オマーン；	4.6%	4.8%
バハレーン；	2.4%	2.8%

物価上昇率は、GCC諸国平均で2010年が3.1%、2011年が4.2%と見込まれているが、カタールは2010年が1.2%、2011年が3.4%と見込まれている。

3. 2010年のGCC諸国全体の名目GDPは、9750億ドルと見込まれている。内訳は、サウジアラビアが4170億ドル、UAEが2390億ドル、クウェイトが1330億ドル、オマーンが567億ドル、バハレーンが209億ドル。

4. 原油価格が1バレル当たり10ドル上昇すると、湾岸諸国の産油国の収入は550億ドルまで上昇する。内訳は、サウジアラビアが280億ドル、UAEが110億ドル、クウェイトが80億ドル、カタールが40億ドル、オマーンが30億ドル、バハレーンが10億ドル。

5. カタールの財政収支に関し、2010年はGDP比8%程度の剰余が、2011年は同9%程度の剰余が見込まれている。他方、GCC諸国の財政収支に関し、2010年はGDP比7.3%の剰余が、2011年は同10%の剰余が見込まれている。

6. カタールの会計収支について、2010年はGDP比21.9%の剰余、2011年は同30%の剰余が見込まれている。GCC諸国平均の会計収支に関し、2010年はGDP比12.2%の剰余、2011年は14.8%の剰余が見込まれている。